

横浜市の温暖化対策の知見を結集し 「バンコク都気候変動マスタープラン」策定に協力しました ～ 市内企業による案件形成も進展 ～

タイ王国バンコク都の気候変動対策の取組強化に向け、平成25年から独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する「バンコク都気候変動マスタープラン（2013年－2023年）」（以下、マスタープラン）の策定に協力してきました。バンコク都では平成23年の大規模な洪水や海岸浸食、干ばつ等の気候変動の影響とみられる被害が発生しており、気候変動への対応として低炭素なまちづくりが積極的にすすめられています。

マスタープランの策定にあたっては「横浜市地球温暖化対策実行計画」がモデルとされました。本市は、下記に示す複数局による支援体制を構築し、多角的に協力してまいりました。

なお、マスタープラン策定への本市の協力について、外務省の「平成27年度開発協力白書」に掲載されています。

【参考】

- ・外務省「平成27年度開発協力白書」
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/press/shiryo/page23_000988.html
- ・JICA「バンコク都気候変動マスタープラン完成」
<http://www.jica.go.jp/thailand/index.html>

マスタープランの策定支援に係る本市の協力の具体的な内容は、下記のとおりです。

1 複数局にわたる多角的な協力

マスタープランは「交通」、「エネルギー」、「廃棄物・排水処理」、「都市緑化」、「適応策」から成る多岐に渡る包括的な計画となっています。そのため本市では、国際局が温暖化対策統括本部をはじめ環境創造局、資源循環局、建築局、都市整備局の係長を中心とするチームを立ち上げ、現地への職員派遣や訪日研修受入れ等を通じて策定を支援しました。

2 本市温暖化対策の取組の共有

具体的には、主に以下の事項で本市の知見を共有しました。

① マスタープラン各分野への技術的な助言

- 排水処理：効率的な下水処理場の運転、下水汚泥の有効利用
- エネルギー：ESCO事業
- 交通：公共交通の利用促進施策
- 廃棄物：廃棄物焼却発電

② 市民と協働した取組の具体的なモデルの提示

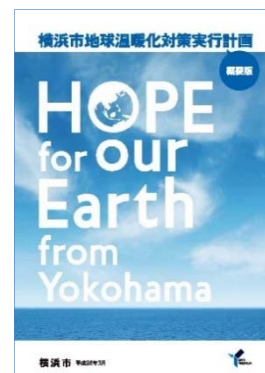
- 廃棄物分野でのG30プラン、ヨコハマ3R夢プラン
- ヨコハマ・エコ・スクール（YES）を参考にした環境学習

③ 企業と連携した取組の重要性に関する助言

- 民間ビルの省エネ化に対するインセンティブ

④ マスタープランの推進に向けた実行体制モデルの提示

- 本市温暖化対策統括本部の紹介を通じた庁内連携体制の強化



横浜市地球温暖化対策実行計画

3 市内企業の海外展開支援に向けた取組

マスタープランの策定支援と並行して、本市は市内企業と連携し、バンコク都の低炭素な都市づくりの具体化に協力しています。昨年度より環境省のJCM[※]案件形成可能性調査に参加し、市内企業やバンコク都及び現地企業が参加したビジネスマッチングをバンコクで行うなど、低炭素技術を持つ市内企業のビジネス展開を支援しています。

※二国間クレジット制度（JCM）：温室効果ガス排出量取引制度のひとつ。優れた低炭素技術等の普及や緩和活動の実施と共に、日本国の削減目標の達成に活用するための制度

（これまでに開催したビジネスマッチング）

- ・平成26年度第1回：平成26年10月、参加企業16社（うち市内企業4社）
- ・平成26年度第2回：平成27年1月、参加企業8社（うち市内企業3社）
- ・平成27年度：平成27年7月、参加企業13社（うち市内企業5社）



平成27年度ビジネスマッチング

4 活動状況



バンコク都での都民も参加したオープンセミナー



下水処理場（汚泥脱水機）現場調査



廃棄物分別回収に向けた現場調査



廃棄物埋立処分場現場調査



民間商業施設空調設備現場調査



まちづくりに関する協議